

二 次の文章を読んで、後の間に答えよ。

* 鳥羽法皇の女房に、小大進といふ歌よみありけるが、待賢門院の御方に、御衣ぎよいひとかさね一重失せたりけるを負ひて、北野きたのにこもりて祭文まつみこと書きてまもられけるに、三日といふに神水かみづをうちこぼしたりければ、檢非違使けんひゐし、「これに過ぎたる失やあるべき。いで給へ」と申しけるを、小大進泣く泣く申すやう、「おほやけの中のわたくしと申すはこれなり。今三日のいとまをたべ。それにし5なくては、われを具していで給へ」と、うち泣きて申しければ、檢非違使もあはれにおほえて、延べたりけるほどに、小大進、

思ひいづやなき名たつ身はうかりきとあら人神になりし昔を

とよみて、紅の薄様一重に書きて、御宝殿におしたりける夜、法皇の御夢に、よ7に気高くやんごとなき翁の、東帯にて御枕に立ちて、「やや」とおどろかしまゐらせて、「われは北野右近の馬場の神にて侍り。めでたき事の侍る、御使給はりて、見せ候はん」と申し給ふとおほしめして、うちおどろかせ給ひて、「天神の見えさせ給へる、いかなる事のあるぞ。見て参れ」とて、「御廐おんまの御馬に、北面の者を乗せて馳せよ」と仰せられければ、馳せ参りて見るに、小大進は雨しづくくと泣きて候ひけり。御前に紅の薄様に書きたる歌を見て、これをとりて参るほどに、いまだ参りも着かぬに、鳥羽殿の南殿の前に、かの失せたる御衣をかづきて、さきをば法師、あとをば敷島とて、待賢門院の雑仕なりけるものかづきて、獅子を舞ひて参りたりけるこそ、天神のあらたに歌にめでさせ給ひたりけると、目出たくだふとく侍れ。則ち小大進をば召しけれども、「かかるともんかうを負ふも、心わろき者におほしめすやうのあればこそ」とて、やがて仁和寺なる所にこもり居てけり。「力をもいれずして」と、古今集11の序に書かれたるは、これらのたぐひにや侍らん。

(『古今著聞集』による)

(注)

* 鳥羽法皇…鳥羽天皇。堀河天皇の皇子。

* 待賢門院…鳥羽天皇の皇后。

* 北野…北野天満宮。祭神は菅原道真。

* 祭文…神に訴えることば。

* 神水…じんすい神前に供える水。

* もんかう…問拷。厳しく問い詰められること。

問一 傍線部1「負ひて」のここでの意味として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **10**。

- ① 疑いを身に受けて。
- ② 検非違使に追いかけて。
- ③ 見つけることができなくて。
- ④ 代金の支払いを命じられて。
- ⑤ 御衣を背負って。

問二 傍線部2「まもられける」のここでの意味として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は

11。

- ① 決まりを遵守していた。
- ② 護衛されていた。
- ③ 機会を窺っていた。
- ④ 大切に世話をされていた。
- ⑤ 監視されていた。

問三 傍線部3「これに過ぎたる失やあるべき」の意味として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **12**。

- ① 三日を過ぎたというのはきつと失敗に違いない。
- ② 御衣を失う以上の罪はないに違いない。
- ③ 神水をこぼしてしまったのは失敗だろうか。
- ④ 御衣を盗んだのであろうか。きつとそうだろう。
- ⑤ 神水をこぼす以上のあやまちはないだろう。

問四 傍線部4「おほやけの中のわたくし」の意味として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **13**。

- ① 社会においては私的な感情は無視すべきということ。
- ② 公的な事でも個人的な情けをはさむこと。
- ③ 朝廷の中にも個人がいて政治が行われていること。
- ④ 公平な中にも私的な事情を優先すべきこと。
- ⑤ 表向きには問題があっても個人的には問題としないこと。

問五 傍線部5「しるし」のここでの意味として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **14**。

- ① 効験
- ② 目印
- ③ 証拠
- ④ 記録
- ⑤ 前兆

問六 傍線部6「なき名たつ身はうかりきと」とはここでは具体的にはどのようなことを言うか。最適なものを次の①～⑤から選
び、記号をマークせよ。解答欄番号は **15**。

- ① 根も葉もない噂を立てられても合格できたこと。
- ② 人の噂で駄目になった恋の悲しさ。
- ③ 中傷によって左遷されてしまったつらさ。
- ④ 悪評も最後には名誉となること。
- ⑤ 何の名誉もないところから身を立てた苦しき。

問七 傍線部7「よに気高くやんごとなき翁」が何者か、本文中で言い換えている箇所を漢字二文字で抜き出して書け。解答用紙
(その2)を使用。

- 問八 傍線部8「給はりて」は誰に対する敬意を表したものか。最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番
号は **16**。
- ① 小大進
 - ② 待賢門院
 - ③ 檢非違使
 - ④ 法皇
 - ⑤ 右近の馬場の神

問九 傍線部9「いまだ参りも着かぬ」の主語として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は

17。

- ① 敷島
- ② 待賢門院
- ③ 小大進
- ④ 法皇
- ⑤ 北面の者

問十 傍線部10「やがて仁和寺なる所にこもり居てけり」とあるが、これはなぜか。その理由として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 18。

- ① 北野天満宮の神よりも仁和寺での仏道修行を選んだから。
- ② 待賢門院が自分のことを疎ましく思っていると判断したから。
- ③ 待賢門院に仕える心の悪い者達とは一緒に居たくなかったから。
- ④ こうした問題に関わってしまったのも自分の心が悪いためであり、仁和寺で心を清めようと思ったから。
- ⑤ 咎めをうけたのも、待賢門院の心根の悪さによるものであり、もう関わりたくなかったから。

問十一 傍線部11「古今集」の序の執筆者が他に著した作品を次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 19。

- ① 方丈記
- ② 御堂関白記
- ③ 蜻蛉日記
- ④ 土佐日記
- ⑤ 更級日記